

活動レポート

技術者のミライ研究委員会

文責：技術者のミライ研究委員会 幹事長 木本光則

今年は道南技術士委員会の方々と一緒にお邪魔してきました 「技術士を知ろう！ in 函館高専」

1. はじめに

「技術者のミライ研究委員会」(ミライ研)にて運営等を担当している「技術士を知ろう！」。平成 30 年度の活動第 4 弾は、昨年引き続き、函館工業高等専門学校社会基盤工学科の 3 年生を対象に実施しました。今回は青年技術士交流委員会(青技交)、道南技術士委員会の連携・協力を得て実施しています。

2. 実施概要

開催日時：H30.8.9(木) 13:10 ~ 14:45

講義内容：技術士資格の説明、制度概要等
技術士の仕事内容と役割

(OB による仕事紹介) (講演 2 編)

土木全般の仕事紹介

対象者：函館工業高等専門学校 社会基盤工学科
3 年生 36 名

参加幹事：小澤、仁田、三吉、宮下、木本(記)
(ミライ研 5 名)、堂領(青技交 1 名)
道南技術士委員会から数名

3. 技術士資格の説明、制度概要等

仁田技術士より、技術士資格の説明として技術士の役割、資格取得方法、持つことのメリット等を説明したほか、社会人になってからの仕事をする上での資格取得の重要性等の説明を行いました。

自身の会社での処遇等も交えた説明で、今後の進路等を考えるうえで非常に参考になったようです。また、一昨年度に函館高専の 5 年生 2 人が第 1 次試験に合格している事例を紹介すると、ずいぶん身近な“自分ごと・自分たちごと”として認識してくれたようでした。



写真-1 冒頭の概説を行う仁田技術士(幹事)と熱心に耳を傾けてくれる学生さんたち

4. 技術士の仕事内容と役割

(1) 技術士の仕事(三吉技術士)

具体的な仕事内容の紹介 1 人目は、函館高専 OB の三吉技術士から、自身の担当してきた環境アセスメントの仕事を紹介しました。発電所の建設工事に際しての環境影響、とりわけ漁業への影響に関するモニタリング調査等の事例を紹介したほか、近年取り組んでいる新技術への挑戦事例を紹介。土木の「作ること」以外にも環境に関わる仕事があるという点で、業界の魅力が学生たちにも伝わったのでは、と思っています。

(2) 技術士の仕事(宮下技術士)

続いて同じく函館高専 OB の宮下技術士から、土木系コンサル、橋梁診断に関する仕事の講演を行いました。宮下技術士からの講演は 4 年連続の実施となりますが、自身の転職歴も交え、“作る時代”から“メンテナンスする時代”へ移行してきた現状を紹介。橋梁診断する技術者を「医者」に例え、学生に

もわかるように丁寧な説明を行いました。講演の最後は自身の学生時代の写真なども紹介しつつ、社会人になって働くことへの「夢」を熱く語り、OBならではの視点で学生たちの視線を集めました。

(3) 土木の仕事全般の紹介

講演最後は、筆者より土木や建築の業界全般を対象に2人の講演で紹介しきれなかった様々な仕事を写真で紹介。他校での説明同様、様々な仕事があることを知ってもらい、学生たちが自分の将来を考える機会になれば、と考えて用意したのですが、まだ漠然としてしか自分たちの「ミライ」を意識できていない学生にとって、今後の進路を真剣に考える機会にしていただけたようです。



写真-2 優しい語り口で講演した三吉技術士(幹事)



写真-3 OBとして熱く語る宮下技術士(幹事)
近い世代のOBの声は学生さんによく届きます

5. 質疑応答

質疑応答は各プレゼン終了後に学生の皆さんから各プレゼンターに対しての質問を記入していただき、その中から何問かを抽出して回答する形で実施しています。

函館高専OBである三吉技術士、宮下技術士の仕事紹介だったせいか、講演内容をずいぶん真剣に聞いてもらえたようでした。紹介事例の内容にかなり踏み込んだ質問も出たほか、「技術士の勉強法」や就職・進学に関する質問も寄せられ、和気あいあいとした雰囲気の中で終えることができました。

6. まとめ

学生からの感想には「技術士の大切さがわかりました」「技術士という資格は高い価値があることがわかった」等の技術士取得の動機となるようなキーワードが多くありました。アンケートでは、有効回答数35人のほとんどが「技術士を今回初めて知った」「名前だけは知っていた」等だったのに対し、35人中33人が「将来技術士を取得したい」と回答してくれていました。

また「自分の将来について改めて考えることができた」、「メンテナンスの仕事もあるということもわかったので、これからの進路に役立てていきたいと思いました。」といった感想もいただきました。同アンケートでの今回講演の「わかりやすさ」「満足度」は5段階評価で4.6、4.7と学生に高評価だったのも一因だったのでは、と考えています。

なお、函館高専での開催ということで、今回は道南技術士委員会のメンバー数名にも参加いただきました。残念ながら今回は仕事紹介等の機会を設けることができず、ミライ研・青技交で実施している出前講座「技術士を知ろう！」の実施状況等を傍聴いただくのみになりましたが、次年度以降は地元で活躍するメンバーが所属する道南技術士委員会にも協力いただいての開催にしたいと考えています。